

イベント日程

■文化祭：
6月21日(土)、22日(日) 本校

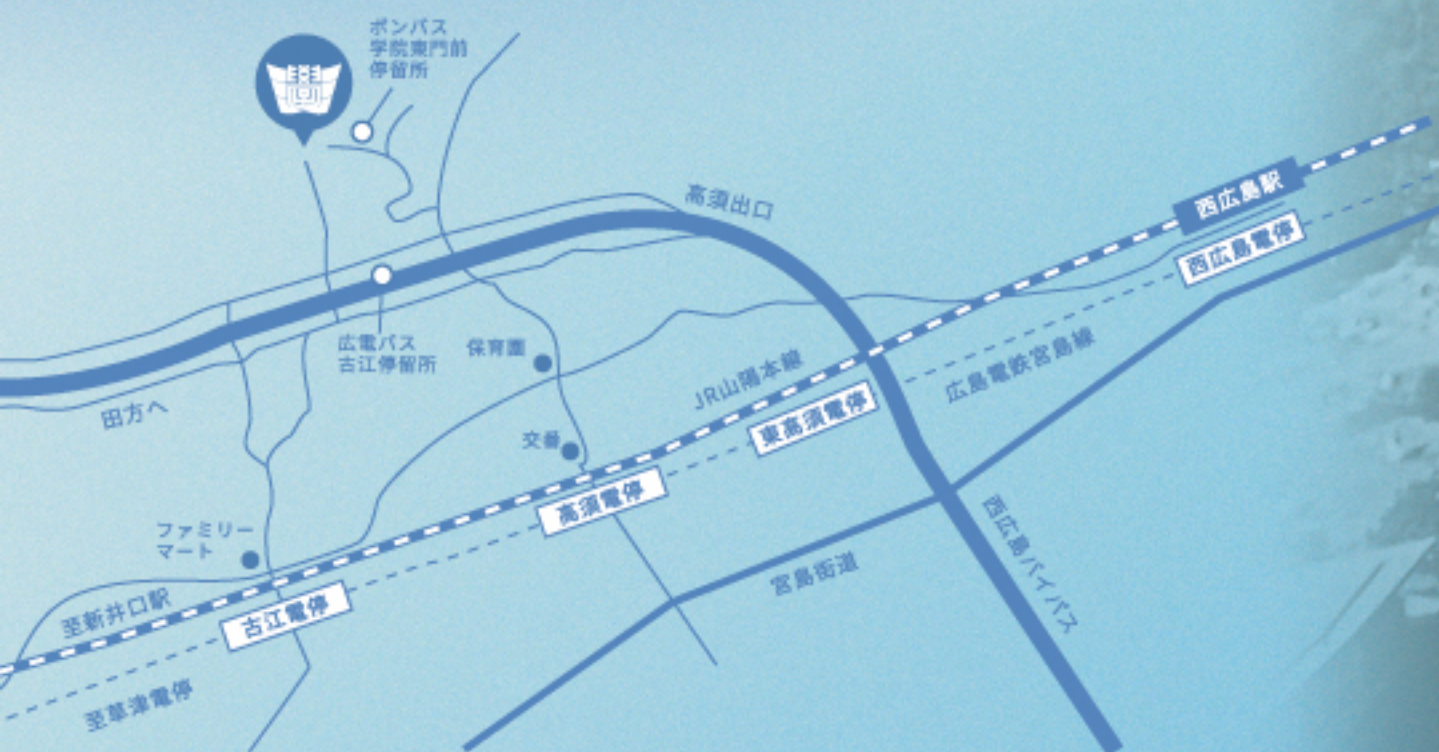
■広島学院スクールガイダンス：
6月14日(土) 広島国際会議場

■学校説明会：
9月20日(土) 本校

■体育祭：
10月3日(金) 本校

その他の広報イベントに関する情報は、
本校ホームページにて随時お知らせします。

ACCESS



JR 山陽本線：西広島駅で下車後、徒歩で約30分またはボンバスへ乗り換え、
学院東門前停留所で下車すぐ（バス乗車時間約10分）
広島電鉄 宮島線：高須電停、または古江電停で下車後、徒歩で約15分
広電バス 郊外線：古江停留所で下車後、徒歩約3分

 広島学院中学校・高等学校

〒733-0875 広島市西区古江上1丁目630
TEL:082-271-0241 / FAX:082-271-6784

公式HP



フェイスブック



インスタグラム



FORWARD AGAIN
70年の歴史から新たな学びを創造する

70th
HIROSHIMA
GAKUIN

Be men for others, with others.

他者のために、
他者とともに。

若者の教育は 世界の変革である

広島学院は、原爆からの復興と世界平和の願いを込めて、1956年にイエズス会によって設立されました。

イエズス会は、「若者の教育は世界の変革である」という理念のもと、世界各地に学校を建設し、カトリックの人間観・世界観に基づく人間形成、すなわち「奉仕の精神で社会や人類のために貢献し、それを喜びとする人間」を育成することを使命とし、愛に満ちた社会の建設、真の平和の実現を理想としています。

広島学院の設立母体であるイエズス会は、1540年に聖イグナチオ・デ・ロヨラや聖フランシスコ・ザビエルらによって創立されたカトリックの男子修道会です。創立当初から、世界中にイエスの福音を伝えるとともに、学校教育が人間形成とより善い社会の実現に大いに貢献するとの認識のもと、青少年の教育活動に力を入れてきました。イエズス会には、世界の67カ国に2300ほどの中学・高校と大学があり、多くの若者がイエズス会学校で学んでいます。

いしずえ 広島学院の礎を築いた 2人の神父

ペドロ・アルベ神父



初代校長 フーベルト・
シュワイツェル神父



広島復興のために

1945年8月6日、原子爆弾によって広島は壊滅状態になりました。当時、長束修練院の院長であったペドロ・アルベ神父は、他のイエズス会員らと共に、多数の被爆者を修練院に收容し、献身的な治療と看護により多くの命を救いました。

また、街に出て瓦礫を掘り起こし、負傷者の命を助け、遺体を收容するなど、広島復興のために尽くしました。それから数年後、イエズス会は原爆投下の地である広島に学校を設立することを決定し、その準備を始めました。アルベ神父は、自身が体験した原爆の悲惨さを伝えるために世界を巡り、復興や学校建設のための援助を求めました。それに応えたカリフォルニアのカトリック教会の人々をはじめ、世界中から多くの支援を受け、1956年、広島学院は創立されました。広島復興のために懸命に働いたイエズス会員や、世界中の善意の人々の思いが込められた学校です。

「よきリーダーとは、人に仕える者である」

広島学院初代校長のフーベルト・シュワイツェル神父は、広島復興のためにリヤカーを引いて街中を奔走したイエズス会員の一人です。シュワイツェル校長は、生徒たちに「よきリーダーたれ」と訓示しました。そして「よきリーダーとは、人に仕えられる者ではなく、人に仕える者である」と教え、身をもってそのリーダー像を示すとともに、「四つの宝＝勤勉・明朗・敬虔・純潔」の実践を勧めました。

他者のために生きる人間 “Men for others”

イエズス会の総長になったアルベ神父は、正義の実現のための教育を目指さなければならないとして、1973年、「イエズス会教育の目標は、他者のために生きる人間 “Men for others” の育成である」というメッセージを世界中のイエズス会学校に発信しました。

シュワイツェル神父の教えもアルベ神父の教えも、「人間は、世界がより善くなるように奉仕することによって、心の豊かさを得ることができる。人間が真に幸福であると実感するのは、受けるより与えるとき、他者のために役立つときである」というカトリックの世界観に基づくものです。

恩人たちの「四つの宝を胸に日々研鑽と修養に励み、自己の能力を最大限に伸ばして、正義の実現のためにその能力を積極的に発揮するよきリーダーになるように」という教えを、広島学院は今も建学の精神として大切にしています。



原爆投下直後に被爆者の治療にあたるアルベ神父



古江の丘を視察するシュワイツェル神父(右端)

“他者に仕えるリーダー”に

ILP

IGNATIUS LEADERSHIP PROGRAM

広島学院では、道徳と総合的な学習（探究）の時間を統合した形でIgnatius Leadership Program（以下ILP）を実施しています。本プログラムは、イエズス会の創設者イグナチオ・デ・ロヨラの『霊操』の方法を教育に応用した、全世界のイエズス会学校で共有するイグナチオの教授法（Ignatius Pedagogy：経験→内省→実践→評価のプロセスを通じ、物事を深く徹底的に知る方法）に基づいています。生徒が「他者のために、他者とともに（Be men for others, with others.）」という言葉を実践できるリーダーとして育つことを目指すプログラムです。



中学

中学では、家族・友人などの身近な人々からはじまり、障がいのある方や元ハンセン病患者の方々、フィリピン・ネパールなどの途上国やアフリカ難民など、さまざまな立場の人々について考えることを通じて、自己中心的な考えから次第に視野を広げ、「他者」を発見していきます。

中1

身近な人々とともに/広島学院のルーツを知る

【家族・友人・地域】

ミサ参列、山口カトリック教会での研修など

中2

さまざまな立場の人々とともに

【障がい理解・生命倫理】

アイマスク体験、聖いす体験など

中3

世界の人々とともに

【異文化理解・平和学習】

姉妹校生徒との交流、長崎修学旅行など



高校

高校では、キリスト教的世界観をもとに、自分に何ができるか考え、より広い意味での「他者」を考える中で、将来の自分の生き方へとつなげていきます。6年間のILPを通じて“Be men for others, with others.”の価値観を身につけ、それを実践できる人間を育てることを目指しています。

高1

自分探し・生き方探し

【自己・職業・学習研究など】

卒業生の職業講演、大学紹介など

高2

ILゼミナール

【興味のある分野の探究学習】

原典研究、命どう家学、世界の中の日本学 他

毎年十数種の講座が開催

高3

愛【隣人を愛する】

学年に関わった教員による講義



出向いていって他者と出会う

国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

20数年続いているフィリピン研修に加えて、カンボジア研修、アメリカ研修を始めました。異文化に暮らす人々との対話を通して多様性に触れ、Global Citizenshipを身につけます。

また、それぞれの研修に参加した生徒が、その経験をお互いに分かち合う時間も大切にしています。

フィリピン研修（マニラ、ナガ）

街頭募金の送金先施設の訪問や姉妹校との交流、ホームステイを通して、フィリピンの文化や生活、教育を約2週間にわたり体験・学習します。

カンボジア研修

内戦や復興について学びつつ、現地の子どもたちとの交流や独自のミサ体験を通して、カンボジアの歴史と文化への理解を深める約1週間の研修です。

アメリカ研修

日系移民の歴史などを事前に学んだうえで、ホームステイや企業訪問、現地高校生との交流を行い、国際的な視野と人生の目標を育む約10日間の研修です。

社会奉仕

“Be men for others, with others.”の精神を実践する活動として、社会奉仕をきわめて重要なものと考えています。物質主義的な風潮の広がる現代社会にあって奉仕的な生き方を選び取り、人間的で幸福な社会を築くために仕える人間が育つように配慮しています。

【主な活動】 GSS(ジャグリングによるボランティアサークル)、街頭募金、児童養護施設の子どもたちを招いてのクリスマス会 など



人間的で幸福な社会を築くために

豊かな価値観を身につける



イエズス会教育活動

カトリック研究会（通称「カト研」有志が参加）は、中1から高3までの各学年がグループに分かれて毎週約1時間、聖書を学びながら楽しいひと時を過ごします。この活動を通じて、豊かな価値観を身につけます。カト研では、他の活動とは異なる絆が生徒たちの中に生まれます。

【主な活動】 春・秋の集い、クリスマス会、釜ヶ崎研修会、炊き出し活動 など



～ 8:30

登校

広島学院の目指す教育は、家庭と学校の日常的な協力なしには達成できないと考えます。そのため、生徒全員が自宅から通学しています。生徒は登校したら、校内に着替えて活動しやすい服装で1日を過ごします。朝早くからグラウンドで遊ぶ生徒が沢山います。



8:30～8:40

朝礼

月曜日は全校朝礼で、校長先生のお話を聞きます。木曜日は中高別朝礼で、クラブの表彰や、生徒会の連絡、退番の先生の話の聞きます。その他の曜日は、教室で健康観察や、1日の連絡などを行います。



1時間目 8:40～9:30

2時間目 9:40～10:30

1・2時間目

授業の始めと終わりには目を閉じて心を静かにする時間があります。これを瞑黙（めいもく）といいます。これによって気持ちの切り替えが来て、授業の集中力が増します。



10:30～10:45

中間体操

天候がよく、時間割変更などがない日には、2時間目と3時間目の間に、グラウンドに出て学院体操を行います。

広島学院の1日

A DAY AT THE ACADEMY

心と身体が健やかに成長するように、バランスを考えて一日のスケジュールを組んでいます。
朝礼から放課後の掃除まで、規則正しい生活を送ります。



3時間目 10:45～11:35

4時間目 11:45～12:35

3・4時間目

あちらこちらで湧き上がる笑い声、そして活発に出される質問と意見。授業は和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく行われます。そして、ひとたび集中すると、教室は水を打ったような静けさに包まれます。「和やかさ」と「集中」のメリハリは広島学院の授業の特徴です。



12:35～13:20

昼食・昼休憩

各クラスの教室で昼食をとりながら、担任が連絡事項を伝達します。昼食は持参するか、売店で弁当・パンを購入します。担任も一緒に食事をとります。食事の後は、校舎の外で身体を動かす生徒もいますが、職員室に来て、先生に相談や勉強の質問をする生徒もいます。



5時間目 13:20～14:10

6時間目 14:20～15:10

7時間目 15:20～16:10 (隔週月曜)

5・6・7時間目

通常は6時間目までの時間割ですが、月曜日のみ隔週で7時間目(15:20～16:10)にホームルームの時間があります。ホームルームでは、学年でまとまって行う「スポーツホームルーム」の他、各学年で必要に応じて様々な活動を行います。



15:10～18:00
(16:10～18:00)

放課後

掃除の後、クラブ活動、カトリック研究会などそれぞれの活動を行います。掃除では、美化委員の生徒が下級生を指導します。教室や図書室で自習をする生徒もいます。下校時刻は17:00、自習やクラブ活動をする場合は18:00です。高校生の希望者は20:00まで自習教室を利用できます。



広島学院の1年

ANNUAL EVENTS



入学式・始業式

新入生は入学式から、在校生は始業式から新しい一年間が始まります。1学期の始業式の日には身体測定を行い、成長の記録を残します。



遠足

新学年でそれぞれまとまって学校外で活動する最初の行事です。登山やサイクリングなど、自然の中で身体を動かします。天候によっては、美術館や博物館などの施設を利用します。



祈りの集い

5月と10月は、カトリックでは「祈りの月」とされています。毎日一人ずつ担当の生徒、または先生のお話を聞きます。開始時と終了時には、聖歌を歌ったり、祈りの言葉を朗読したりします。希望者による参加です。



11月



文化祭

文化部や各学年の他に、生徒たちが自主的にサークルを作って展示や発表をします。模擬店やステージ発表など、さまざまな企画が行われます。学年、クラスの枠を超えて、仲間同士のつながりが深まる行事です。

- 高校卒業式
- 学年末試験
- 3学期終業式・中学卒業式
- [中3・高2] 修学旅行
- [中1] 社会科研修旅行
- [高1] アメリカ研修



- 祈りの集い
- 1学期中間試験
- 姉妹校受け入れプログラム
(アテネオ・デ・ナガ校)

- 1学期期末試験
- 1学期終業式
- [高3] 特別授業
- [高2以下] 夏期補習
- [中1・中2] キャンプ

- 2学期始業式
- 中学入試説明会
- 体育祭

4

APRIL

- 入学式
- 1学期始業式
- 遠足
- 教育講演会・翠江会(PTA)総会

5

MAY

- 保護者面談
- 教育実習
- 定期健康診断
- オープンスクール

6

JUNE

7

JULY

8

AUGUST

- クラブ合宿
- [中3～高2] フィリピン研修
- [高1] 東京研修
- 東北ボランティア活動
- [高2] 特別授業

9

SEPTEMBER

10

OCTOBER

- 祈りの集い
- 2学期中間試験
- 保護者面談

11

NOVEMBER

- 文化祭(2日間)
- 物故者追悼式

12

DECEMBER

- 創立記念講演会
- 2学期期末試験
- 2学期終業式
- [中3] 街頭募金
- クリスマス会・キャンドルサービス
・ 聖夜ミサ
- [中3～高1] カンボジア研修

1

JANUARY

- 3学期始業式
- 中学入試

2

FEBRUARY

- マラソン大会

3

MARCH



9月



体育祭

全6学年のA～D組が縦割りの4チーム(団)に分かれて得点を競います。高2学年が中心となって運営し、体育委員長、応援団長が率先して他の生徒たちを引っ張ります。この行事を通じて学校全体が一つにまとまります。



11月

物故者追悼式

11月は、「死者の月」です。本校に関係する物故者の方々のために、全校で追悼の祈りを捧げます。当日は授業、部活はありません。朝から校内にはレクイエムが流れます。一年のうちで最も静かな一日です。



2月

マラソン大会

中学生も高校生も10kmを走ります。一人ひとりが自身の体力の限界に挑みます。そして、走り終わった後は仲間たちと互いの努力を讃えあいます。



3月

修学旅行

中3は長崎での平和学習、高2は沖縄で平和学習の他、文化学習、マリンスポーツ体験なども行います。また、仲間と寝食を共にすることで、より一段と学年がまとまります。



クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

学校を彩る“様々な放課後の活動”

運動部

水泳部 サッカー部 硬式テニス部 軟式野球部 卓球部 バレーボール部 剣道部
登山部 柔道部 バスケットボール部 陸上競技部 プラスバンド部

※本校では、プラスバンド部を含めた12の部活動を[運動部]として、入部の枠組みを設定しています。



その他の活動



カトリック研究会



GSS(ジャグレンジャー)
ジャグリングによるボランティアサークル



科学オリンピック関係

化学・生物・地学・数学オリンピック、科学の甲子園、倫理・哲学グランプリ、言語学オリンピック、情報オリンピック、キャリア甲子園、物理チャレンジ

豊かな情操や友情を育む場として、中1の夏休み以降、部活動に参加します。

学習との両立や、委員会活動への参加のため、運動部の活動は週2回、文化部は週2回以内と定められています。

いくつかのクラブを掛け持ちしている生徒もいます。

文化部

物理部 生物部 化学部 文芸部 囲碁部 将棋部 茶道部 社会研究部 書道部
美術部 天文部 演劇部 ESS 新聞部



生徒会活動

学校生活や行事など、様々な活動を生徒主導で自主的に行っています。

生徒会執行部

美化執行部

奉仕委員会

広報委員会

風紀委員会

体育委員会

文化委員会

美化委員会

放送委員会

図書委員会

教育施設

FACILITIES

心を育てる“学びと交流のキャンパス”



図書室



下グラウンド



上グラウンド



正門



プール



テニスコート

広島市内と瀬戸内海を一望できる校舎



広島学院の校舎は、広島藩主浅野家の別荘地跡に建てられ、緑豊かな丘陵地にあります。校舎からは広島市内と瀬戸内海を一望でき、裏山のカントリーコースは運動部の練習に活用されています。自然に囲まれた環境で、若い力が育まれます。



ペドロ・アルベ記念講堂

2015年に創立60周年事業として建設され、1200名収容可能です。入学式や卒業式、文化祭のオープニングなどに使用され、廊下には聖書の言葉がステンドグラスに刻まれています。



アシジの聖フランシスコ聖堂

2015年に竣工され、広島から世界平和を祈る思いを込めて命名されました。5月と10月の祈りの集いや、学期ごとのミサなど、カトリック行事が行われています。



ザビエル体育館

守護聖人フランシスコ・ザビエルにちなんで名づけられた体育館で、1階に柔道場、2階にアリーナがあります。ドーム状の屋根が特徴で、採光により温かみのある雰囲気演出しています。



理科棟

物理・化学・生物の教科ごとに実験室や階段教室があり、設備が充実しています。階段教室は段差を利用し、実験の様子が見やすい設計になっています。

新校舎建設



広島学院の現校舎は、創立以来教育方針を体現する場として大切にされてきましたが、老朽化によりその機能に限界が見えてきました。現代の教育には、生徒の主体性を支える設備、ICT環境、災害対応、バリアフリー化などが求められています。創立70年を機に、教育の質と環境をさらに高めるため新校舎の建設を進めます。2025年10月から第1期工事を開始し、2026年12月に引越。6学年24教室のうち18教室が新校舎、6教室が西館へ移動します。2027年12月、第2期工事完了後、全学年が新校舎に移ります。仮設校舎は作らず、建設中も現校舎で授業を続けます。工事期間中は仮設歩道を設置し、生徒の安全を確保します。



卒業生が語る 「広島学院と私」

それぞれの Men for others, with others



▶ 座談会



◀ 各インタビュー



(株) インディードリクルートパートナーズ
HR エージェント DMision
ハイキャリアカスタマーサービス2部
キャリアアドバイザー

川本 英司 さん (元生徒会長)

〔クラブ〕 野球部
〔進学先〕 東京大学法学部

キャリアアドバイザーとして、転職など、ご相談者のキャリア構築に関する支援をしています。



安芸高田市歴史民俗博物館
副館長

秋本 哲治 さん

〔クラブ〕 野球部
〔進学先〕 奈良大学文学部 文化財学科

博物館の学芸員として、地域の歴史の魅力を発信しています。



岡山大学病院 集中治療部
助教

鈴木 聡 さん

〔クラブ〕 バレーボール部
〔進学先〕 岡山大学医学部 岡山大学大学院

集中治療部の麻酔科医として、重症患者様の回復、社会復帰に貢献しています。



旭酒造株式会社 代表取締役社長
(2025年6月に「株式会社 彌祭」に社名変更予定)

桜井 一宏 さん

〔クラブ〕 登山部
〔進学先〕 早稲田大学 社会科学部

「彌祭」の醸元として、日本酒の魅力を世界に発信しています。



宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
宇宙科学研究所 教授

佐伯 孝尚 さん

〔クラブ〕 野球部
〔進学先〕 東京大学工学部、
東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻

「はやぶさ2 プロジェクト」で探査機着陸に貢献しました。



もりかわ歯科クリニック
院長

森川 英彦 さん

〔クラブ〕 登山部
〔進学先〕 広島大学歯学部
広島大学大学院

「まちの歯医者さん」として、地域の人々を支えています。

学校長挨拶

SCHOOL PRINCIPAL'S STATEMENT

あなたの代わりは誰一人おらず、あなたはあなたらしくあることだけで、とても大切な存在です。そして、あなたは唯一無二の才能を必ず備えています。それは、あなたの身のご家族、友人、会ったことのない世界中のあらゆる人に対しても同様にいえることです。だからこそ、あなたも他者のために、他者と共にある存在であって欲しい、と私たちは願っています。

あなたの才能に自分だけで気がつくことは、実は大変難しいことです。そのためには、心身の鍛錬、知性の研鑽、実社会への洞察が当たり前のようにできるようになること、大切な仲間がそばにいることが大切です。私たちは、皆さんが自身の才能を見つける6年間の旅路の中で、どんな時も同伴し、一緒に悩み、励まし、喜びます。そして、「地の塩・世の光」(マタイ5章13~16節)である皆さんの才能が世の片隅を照らすこと、世に光を放つことを全力でサポートします。

本年度、広島学院は"FORWARD AGAIN"を合言葉に、新校舎建設に向けて動き出します。70年の歴史から、あなたと共に新たな学びを創造し、より善い社会の創生のお手伝いができる学校でありますように。

第13代校長 **阿部 祐介**

学校沿革

- 1956年 ● 広島学院中学校創立 初代校長にシュワイツェル神父就任 第1回中学入学式 3学級 107名
- 1959年 ● 広島学院高等学校開校
- 1962年 ● 第1回高校卒業式
- 1966年 ● 中学校 1年 4 学級編成に
- 1971年 ● 中高ともに各学年 4 学級編成、生徒数 1,080 名
- 1982年 ● 西館・小体育館竣工
- 1987年 ● プール竣工
- 1988年 ● ザビエル体育館竣工
- 1995年 ● 理科棟竣工
- 1997年 ● フィリピン体験学習開始
- 2002年 ● IP 学習開始 (現在は「ILP」に名称を変更)
- 2005年 ● 耐震補強工事・リニューアル工事竣工 創立 50 周年記念式典
- 2015年 ● 60 周年記念事業 ベドロ・アルベ記念講堂・聖堂竣工
- 2016年 ● 姉妹校 5 校の学校法人が「上智学院」に合併
- 2025年 ● 阿部祐介、第 13 代校長に就任

学校概要

- 生徒定員：中学・高校 各学年4学級約1,100名 中学入試のみ。高校では生徒を募集しておりません。
- 職員組織：教員約60名 事務職員約15名

日本の姉妹校

- 上智大学 (東京) 上智大学短期大学部 (長野)
- エリザベト音楽大学 (広島) 六甲学院中学校・高等学校 (神戸)
- 栄光学園中学高等学校 (鎌倉) 上智福岡中学高等学校 (福岡)

